

## 就活に関する考察

090107M 板谷洋介

私の場合は新卒での就活ではなく、一般の学生とは事情がことなるので、社会人から見た就活のことや、社会人の転職経験者の話や、雇用側の話を中心にまとめることとする。

- 学生の就活を見ていて思ったこと。
  - ・ 服装や ES も大事だと思うが、実際に会った時の印象が大きいと思う。面接のウエイトが大きいといわれる昨今、きちっとした言葉遣いと、対面している間の姿勢、絶やさぬ笑顔は大切なポイントであろう。私の友人（女性）も、モロゾフの社員募集（30倍）で、笑顔を絶やさなかったという理由で採用されたことがある。
  - ・ 大手の企業よりも、本当にやりたい仕事や、中小企業でも将来性が高い企業を選び、応募していくほうが効率も、その後の仕事もよいと思う。私の友人で、募集の有無にかかわらず、自分を売り込んで大手の企業に中途採用された者もいる。
  - ・ 就活に限らず、自分が思っている自分と、他社の評価は差があるものである。就活では後者が重要になるので、近しい人からの印象や、指摘された長所短所などから、いかに自分を見せるかが重要である。
  - ・ 困ったときは、出来るだけ多くの友人や先輩に相談すること。アドバイスや情報は、人との繋がりから得られることが多い
  
- 企業攻略
  - ・ 企業がどんな人材を求めているかを精査し、そのポイントにどのように関わることが明確に伝えられる学生は、雇用後の具体的な部署のイメージに繋がり、有利になる。
  - ・ 応募する会社の“なに”に魅かれたのか。それが、どう自分と関わって応募したかが具体的なほうがいい。
  - ・ 応募する企業のモノやサービスに“惚れ込んでいる”ことを、自分の言葉で熱く伝えられるようにする。
  - ・ 自分の器用さや、主張できる自主性と協調性との表現を煮詰め、アピールをする。
  - ・ NG なこととして、「商品の開発に携わりたい」などは、その会社の専門部署が必死に考え、商品化しているので、良さも悪さもわかっており、素人が「アイデアがあります」といっても、軽く受け止められがちである。
  - ・ 商品の開発云々よりも、その会社のモノやサービスに心底惚れ込んでいて、その会社の人たちが意外に思うほどの「あれこれ良い」ということが語れるほうが、企業側が欲しい人材だという。実際、メルセデスベンツのトップセールスマンは、どれだけメルセデスが好きで、オーナーである喜びが如何なるものかをコンコンと語り、「買ってください。」的なことは絶対にいわないそうである。